



**○ニエとディーゼがライオスに  
懲罰権を行使される本**

**+ アリスが公理教会でいろいろされちゃう本**

FOR ADULT ONLY





こんにちは、カグツキです。  
この度はこの本を手にとって下さってありがとうございます。  
ロニティ本です！SA018巻ではちょっとしか出番がなかったですが  
あまりにもかわいすぎたので描いてしまいましたー！  
アリスにいたってはMORE DEBAN状態でしたがSA011巻ではさっと  
出番あるはず！信じてます！

もっとロニティを描いていたかったですが今回はこれが限界でした……  
成長したアリスも描いてみたいですし11巻が本当に楽しみです！！  
でももし、次がSA019だったらアリスの筆きは当分おあずけですかー！！



んんっ  
すると君達は二人の私、  
ライオス・アンティノスが  
傍付き嬢士を性的に辱めていると  
そう言うのかね？

そ、そうですライオス殿……！  
貴殿の傍付きのつし二ー力から  
私達に涙ながらの  
訴えがあったのです！

……ハハッ！  
貴君らは、この私、三等爵家長子たる  
ライオス・アンティノスに  
不敬甚だしい物言いをしたア！  
わえに私には学院則にのっとり  
懲罰を下す権利がある！

しかしながら私は三等爵士の長子、  
そして貴君らは六等爵士の娘だア！  
なれば学院則の懲罰権よりも  
貴族懲罰権を行使する権利が  
優先するッ！

懲罰権はいいものだぞオ！  
学院則のようなケチ臭い規定は一切無しッ！  
禁忌に触れない限り、何をしようと、  
何を命じようと自由なのだッ！

……ところで貴君ら、  
異性と口付けを交わしたことは  
あるかな？

そ、そんなこと  
したことはありませんっ！

ハハッ！そうかそうか  
ならば私の男根に口付けを  
することを許可してやろう……  
全裸でなアアッ！

そ、そんな  
私達、殿方と口付けを  
交わすのは初めてなのです……  
なのに男性器となって……っ

んんっ

んんっ

んん……っ  
やはりここはキリト殿の  
傍付きから奉仕してもらう  
のが筋か……！

ウンベールううッ……！  
ユージオ殿の傍付きは  
貴君にくれてやるッ……！

ひっ……っ  
お願いします……許してください  
ライオス殿……いやあ……

ライオス殿……！  
このウンベール謹んでお役目  
引き受け申す……！

い、いやああ……来ないでくださいっ  
せ、先輩……助けてええっ！  
ふぐうっ……？  
んんんっ……！

んくっ……んむっ、んっ  
……ふぐ、んっ、ちゅ……ば、  
んっ、んんううううっ……！  
んっ、んんっ……ぐ、ふむ……んっ  
んんんっ……！

うえっ……いやあッ……！  
酷いこと……しないで……  
せ、先輩、キリト先輩助けてえっ……！

うっ……ぐ……ううっ……  
んっ……いやあッ、  
離してくだ……さ、んんっ……

ふぐううッ……！  
んぐ……んっ、ちゅ……んむ  
んっ、んんうう……！  
んんっ……ふあッ、  
あ、あやめください……んっ

ライオス殿ッ！  
こちらもなかなかの物  
ですや！まったくもって  
コージオ殿にはもったいない！  
おおおおおおッ——！

あ、熱いのが……  
き、気持ちっ……わ、悪いのが……  
い……いや、いやあ……っ

さあさあどんどん精液を  
飲まないで窒息して  
しまいますよおッ——！

んぶうっっ——！  
うえっ……えっ……  
ごほっ……うええっ……  
んむっ……むっ……  
んむうっ——！

おおッこの傍付きの喉……  
なかなかの名器ではないか……ッ！  
キリト殿には勿体無いな……  
ではまず一発ッ！  
ハハハアアッ——！

ふぐっ……ふぐううう……  
んん……ん……っ！  
うええ……えう……  
げほっ、はっ……はあはあ……

ひっく……ふえええっ……  
いや、いやあああ……  
ぐすっ、うくっ……ううう……

どうして……どうしてこの方達は、  
こんな酷いことをして平気で  
わらっていられるの……？  
教えてくださいキリト先輩……

どうして……？  
どうして私はこんな辱めを  
受けなくてはいけないのですか？  
先輩……コージオ先輩……っ

平民のキリト殿などより  
上級貴族の私に貴殿の処女を  
捧げるべきなのだッシー！

私の一物モライオス殿ほど  
ではないがかなりのものなのでね  
お覚悟をッシー！

そ、そんな酷い……  
あぐっ……ひっ、あ、あっ、  
いやああああああっ！  
やああっ、ひ……ぎっ、あ、あ、あっ、  
うああああああああっ！

うえ……こ、これで  
許していただけののですか？  
ライオス殿……ひっくっ……

ハハッ！何を言うこれからが  
本番であるぞ？  
処女の貴君には  
多少酷かもしれないが……

えっ……？  
そ、そんな……  
まさか……

ひっ……！

いやっ、いやああああっ！  
やだっ、やめてっ、お願いですから  
やめてえっ、いやああああっ！

だめっ、だめだめだめ、  
いやああああああっ！

あきいっつ、ユージオ先……輩、  
ひぐ……っ、やあっ、  
うああっ、あっ、いたいたい、  
いやあっ、うああああああっ！

うあつ、や、あああつ！  
痛い痛い痛い、いやあああつ  
ひぎ……先ばあああああ！

私の中で、なにが……やだ、  
なにこれ……いや、いやああ……っ  
硬いの、びくんびくん震えて……

やだ……なにこれえっつ、  
お腹……いやっ熱い……っ  
お腹に、気持ち悪い感覚が広がって  
……熱くて、ぐちゃぐちゃで、  
変な感じがして……  
気持ち悪い……よあ……  
やだよあ……先ばい……っ

おあつ、すばらしい締め付け……  
これぞまさに処女の醍醐味ッ！  
あまり濡れてないのもあって  
なおさら締め付けてくるゾッ！

キリト先輩に捧げるはずだった  
私の大切なところを……  
しかも、別の男に喉を穢されながら……

いや、いやあああ……  
ぐすつ、うくっ……  
ううう……キリト先ばい……

ふええ……酷い……  
こんななのっ、こんななのって……  
私の大切な始めての経験を、  
こんな……こんな酷い殿方に……

んむううっ……っ……  
んっ、んぐっ、んっ、んうううう……  
んうっ……んうっ、んぐ……んっ、んううっ……  
んうううううううう……

い、いやあつー！なに……っ  
お腹の中で硬いのが震れて……  
熱いのが、広がって……  
やだ、やだっ……う、うう  
いやっ、いやっ、気持ち悪い……っ……

い、いがんッ！  
もう出るううッ……

うあああああつ、あひつ、ぎあ、ああああつー！  
やめ……あひっ、いぐつ……  
うあつ、あ、あああああつ！

やめ……てええええつ！  
いやつ、コージオ先ばいいいっ、  
ひぎつ……うあつ、あきいいいっ！

まったく五月蠅く泣き喚く暇があったら  
もっと締め付けて頂けませんかねッ！

ウンペール殿はそう言うど、  
私の股間に手を這わせてきて……  
陰核を思いつきり捻り上げた……

ぎ……、あああつ、  
うああああああああつー！  
あきいいいっ、  
うあつ、あああつ、  
うああああああつー！

もうどのくらいこの陵辱行為が  
続けられているのだろうか……  
私の大事なところには幾度も幾度も  
身体の内側に浸透するくらい  
激しく精液が流し込まれていた……

もういやあつー！抜いてっ……  
抜いてくださいっ……

ほらほらどうした体んでいる  
暇はないヤッ！そらアアッ！

そういうとウイオス殿は  
腰を振る動作に合わせて  
私の陰核と乳首を  
一気に捻りあげた……

いぎつ……いやああああああああつー！  
あひい、いぎ……あ、あ、あああ  
ああああああつー！うあああああつー！

やだ……うああああああつー！  
帰りたい……よあおつ、ひぎいい  
キリト先輩の……ところにつ  
あ、あ、あつ、やだ、やだああああつー！

い、いやつ、いやあ……  
も、もお、私……  
変に、なっちゃう……死んじやう……っ  
どうして来てくれないのコージオ先輩……

さて……それでは、せっかく指導生たる  
キリト殿とユージオ殿がおいでなのだ。  
引き渡す前に、席付きの離れ方という  
ものを、もう一度きっちりイイイ……と  
お見せしようではないかアアアア——！

……せん……ば……いっ

雷が掛かったような頭が  
少しだけはつきりする……  
あれは……あの聲は……

おやアアアこれはこれは  
キリト殿とユージオ殿では  
ないかアア——

ずいぶん遅かったではないか……  
また性懲りもなく  
お花に水でもあげていたのかなアア？

もう二ちらの囁き囁きは二つとも  
摘み取られた後だがアアア——  
キャハッ、キャハハハハハハ——！

いったい……どれだけ、  
私は陵辱されたのだろう……  
数なんて、もう全然分からない……

身体中がべたべたする……  
早く綺麗にして先輩のところに  
戻らないと——

嘩ああああ見ないでえええ——！

私達は穴という穴から精液を  
だらしなく垂らしながら  
先輩達と再会した……

ひ……ぎっ、んっ、う  
あああああああっ！

い、いや……なにこれえ……っ！  
気持ち悪い……いやっ、  
入って……入って……っ

ひぐ……や、うあ、あ、あっ  
やめて……いやっ、んんうう……っ

初めましてえ  
アリス・ツーパールワッ！  
アタシは元老千ユデルキン……  
いかがですかあ  
元老たちの男根の味はあ？

……ぶはあっ  
あ、あなたが公理教会  
の元老ですって……？  
馬鹿も休み休み言いなさいっ

ああ無駄ですよお！  
その手足の布は結構な優先度を  
もつ品でしょね  
それを着けられた者は赤子同然の  
かしこたせないんですよ！

男の股間の物に口と  
大切なところを同時に塞がれ  
恥辱を覚われた激痛に耐えながら  
声のした方に視線を動かす……

二、このメス隊……っ  
最高司祭様からの信頼も厚い  
この元老千ユデルキンに  
対してなんたる口の利き方っ！

まあいいでしょう  
どうせこれから壊れるまで元老たちに  
叩かれるんですから  
寛大な心で許してやりましょうっ！

これからオマエはここで  
恐怖と絶望の淵を流しながら三日三晩  
の書め苦のはてに魂なき木偶人形  
になるこですよう！

つまりは犯しつくして心の壁を  
無理矢理に決じ開けた上で  
元老たちの多重術式によってオマエの  
大切にしている思い出を奪い尽くすッ……

……ぶはあ  
ほ、本当に元老様なのですわ……ッ  
ならどうして……どうして  
このような酷いことをなさ……

んんうっ……ぐ、んっ  
ふああ、あああッ  
いやあああああああッ！

痛い痛い、や……やめ……  
ひぎいつ、いやッ、あぐ……  
いやあああッ！

少しは喜んで頂きたいですわねッ！  
オマエはこれから整合騎士に、  
教団の命するまじましく操り人形に  
なるこですわッ！

んむううっ……！  
んっ……んうっ……んっ  
んぐ……んうっ、んうううう……

いやッ……いやあッ……  
痛い痛い痛いッ……  
男性器が私の口とお腹の中で  
暴れて体の中が穢されていく……

んうっ……ふあッ、  
やめなッ……んんううッ……  
んぐッ、んうッ、んうッ……



んぐっ……んっ、んむう……！  
んっ、んうっ……ぐ、  
んう……んむうううー！

さあてメス睨ア……  
いい声で啼いてくださいよう！

口を塞がれて悲鳴すら  
満足に上げられない状態で……  
私は陰部を捻りあげられ、そしてさらに  
汚らしいモノが  
お尻の穴にねじ込まれた……

い、いやあああっ！  
どうして、お尻なんかにつー！  
気持ち悪い、気持ち悪い……  
いやっ、いやあぁっ……！

さらに別の元老様が近付いてきて  
また私の大切なところに  
股間のモノを突き立てる……

ひ……ぎいっ、うあっ、  
あ……あぐっ、やっ、いや……  
あああああああああぁっ！

離れ……てください……いやっ、  
やめて……んあああああぁっ！  
ひいっ……んうっ、うあっ、  
あああああぁっ！

おほはおおおあぁっ！  
その声ですよ……  
恐怖と慾望の色に染まった……  
ほあぁっ！ほあああぁっ……あ……あっ

いぎいっ……うあぁっ、  
ひぐっ……やっ、うあぁ、いやっ、  
やめて……んんあああぁっ！

ああっ!! ほおおおおっ!!  
想像以上……想像以上ですよアリス!!  
オマエは精液で汚されれば汚されるほど  
美しくなる……今のオマエが流す涙は  
宝石のように美しいイッ!!

……もっとオ、もっとオオオオッ!!  
アタシに輪転を感じさせなさいイイイッ  
ホホオ——!

ぬ、抜いて……いやっ、  
あぐ……んっ、ふあっ、  
あ、あ、あっ、はひいっ……!!  
ひぎい……う、あ、ああっ、  
や……いやああっ!!  
抜いてっ、抜いてええっ!!

ひ、……い、あ、あ、あっ、  
ふあああああああっ!!  
い、いやっ、キリトっ、うあああっ、  
お尻の穴が挟られて……ひぎっ、う、あああ、  
あ、ああっ!

な、なに……この感覚っ……  
キリト……怖いよ、  
私、おかしくなっちゃったのかな……

んんうっ……うああ、あ、あ、あっ、  
ひ……やっ……やめ……っ  
ひ……い、いやっ、  
うあああああああああっ!!



date of issue : 2012/08/12

publisher : L'ARCHANGE カグツチ

website : <http://kagutsuchi.jp/>

printing office :

SUNGROUP CO.,LTD.





○ニエとディーゼがライオスに  
懲罰権を行使される本

+ アリスが公理教会でいろいろされちゃう本

FOR ADULT ONLY

